

令和4年度町政懇談会記録

- 1 会議の名称 令和4年度町政懇談会（地名区）
- 2 会議日時 令和4年11月10日（木）午後7時から午後8時15分まで
- 3 開催場所 地名地域振興センター
- 4 出席した者の氏名
 - （1）地名区 参加住民 33名
 - （2）執行機関 町長 藺田靖邦、副町長 秋元伸哉、教育長 山下 斉
（出席課長） 総務課長 山田、くらし環境課長 梶山、会計課長 北原
（書記・庶務） 支所管理局長 岩田、会計課室長 伊藤、生活環境室長 神谷
税務住民課主幹 澤本、支所管理室主幹 森下
（その他職員） 農林課長 鈴木、くらし環境課長補佐兼室長 中村、
- 5 内容
 - （1）行政からの報告（町長・副町長・教育長）
 - ・これからの取組みと今後のまちづくりの方針
 - ・デジタル技術を活用した行政サービスの向上
 - ・町の教育方針について
 - （2）町民の皆さんとの意見交換
- 6 発言の内容
 - （1）事前質問に対する回答等
なし
 - （2）意見交換
（住民） 学校教育について
令和6年4月から2校にするとしているが、なぜ2校にしなければなら
ないのか。人口も6千人程度、高齢者人口も半分。その中でなぜ1校にしな
いのか。自分たちの頃は道路事情が悪かったため、当時の状況なら2校は理

解できる。

(町長) 自分の理念もあり、教育のまちづくりで移住定住を推進したいと思っています。委員会で協議していただき、義務教育学校2校との答申が出ました。その間、議員もいろいろな思いをもってきたと思っています。

(住民) 今の状況で、児童は今後増えることはないと思う。北部地域は何人を想定しているのか。今後、増える見込みはあると考えているのか。

(教育長) 2校決定の経過は学校の在り方を検討委員会で導き出されてきました。今まで実施してきた少人数教育での良さを今後も活かしていきたいという理由からです。一方で保護者の不安にも答え、子供たちのためにも時間をかけずにスムーズに再編計画を進めていきたいと思っています。二つの特色ある学校を作って、川根本町の教育を高めていきたいと思います。1校にすると場所の選定が難しく、南北に広い町のため通学時間に負担がかかります。そこで、既存の校舎を活用し、義務教育学校設立経費の縮減も検討しました。こうした様々な理由の中で2校に絞られました。北部の小・中学校の生徒数は増えないが、縦の関係は増えます。異年齢での活動は子供の環境にとっていいのではないかと考えています。人数は、1年生から9年生でおそらく60～70人位になると想定しています。

(住民) 西地名で農業基盤整備を2～3年くらいやっている。その区域内に何軒か住宅がある。今回の台風をもって、今一度見直し、しっかりした測量設計をして災害が起こらないようにしてほしい。

(町長) 農業基盤整備は、西地名・原地区で実施しています。ご質問のとおり住宅の安全を考慮しながら事業を進めていきたいと思います。この2地区はすごい決断をしてくれたのでぜひ成功させたいです。

(住民) し尿処理場については何が決まって、何をしようとしているのか。

(課長) 8月26日に地区の役員へ説明させていただきました。その際、アンケート実施の要望があり既に実施し回収しています。今後はそのご意見を考慮し住民説明会を実施していきます。

し尿処理施設は三津間地区で60年間受け入れてきました。その地元からの要望もあり、令和元年から将来について検討・協議してきました。その中で新しい施設の建設は財政的に難しいとのことで、し尿処理の外部委

託が答申され、町はその答申を受けて外部委託をすると決定をしました。

これまでは中継地として町有地を考えていましたが、候補地として適当な場所がなく、民地設置も検討してきたという経緯であります。

(住民) 今は全く決まっていないということか。今の施設を使って外部委託もありえるのか。外部委託をやめて町内処理とすることもあるのか。

(町長) 様々な処理方法を検討してきました。島田市とも連携できなかったことも事実です。新規施設は 25～26 億円くらいかかる見込みです。そこまでの経費をかけて建設するのか、中継漕の考えを変えるつもりはないが用地交渉は難しいと考えています。今までの施設は全て町有地に建ててきていますが、現在の町有地では候補地がなく、当地区の候補地を選ばせてもらいました。今後話し合いを進めていきますが、これまでの経緯等を踏まえ理解をお願いしたいと思っています。

(住民) 町長の重点施策に「安心できる医療体制」がある。地名地区には透析患者が多い。町内には専門医もいるので、なんとか透析施設の誘致などできないか。安心できる医療体制の充実が一番ではないか。

(町長) 透析を必要とする患者は町内に 15 人位います。外出支援サービス等を利用して町外の病院に通院しています。前述の医師は透析専門だが、透析の設備も複数台は必要になります。旧小沢医院等を活用することを検討しましたが、現実的には難しい状況であります。

(課長) 初期投資は可能かもしれないが、運営をどうしていくかという課題があります。開設は厳しいという判断を 3 年ほど前にした経緯があります。

(住民) 今回の台風で大変苦勞して透析に行った。病院までの道路が通れないと命に係わる。国の援助を検討するなどして検討いただきたい。

(町長) 今回の台風では他地区でも医療行為が必要な高齢者がいました。ヘリコプターやバイクを利用して物資等を搬送して対応しました。災害でも対応できるように検討していきたいと考えていますが、時間はかかってしまうことをご理解願いたいと思います。

(住民) 中央小学校付近の道路は道が狭くて危険だと感じる。小学校内のロータリーも狭く、小学校が統合するとスクールバスの台数も増える。校内にいる子供も危険である。中川根中学校は通勤等でスピードを出す車が多い。

中川根中学校はロータリーも無い。こうした危険性をどう考えているか。
(教育長) 学校再編ではスクールバスの台数も増えることから、中央小学校・中川根中学校の周辺をどういったルートで運行したらいいか検討している段階です。スクールバスの運行者にもご意見を聞きながら進めていきたいと思っています。

以上